

院side OUT!!

後期が始まり、来春からの新生活に胸を躍らせている、あるいは不安に思っている3・4年生も多いのではないのでしょうか。今回は、桂や宇治のキャンパスライフの実態を明らかにします。(本記事は2022年春号を再編集の上、掲載しています)。

今月の特集

宇治・桂キャンパスの魅力

「吉田キャンパスの方が生活面では便利に決まってる！」という先入観を持っていませんか？ しかし宇治・桂キャンパスも負けず劣らず良いキャンパスなはず……！ ということで、宇治・桂キャンパスの研究室に所属している修士2年生（当時）のお二方にそれぞれの場所の魅力についてお聞きしました。

OUT キャンパスでの生活や印象

——桂キャンパスで研究するAさんの場合

桂キャンパスはAクラスター、Bクラスター、Cクラスターの大きく3つに分かれていて、それぞれ敷地が広いです。建物も新しくきれいです。そのため、自転車がなくてごちゃごちゃしていた吉田構内と比べると狭苦しく感じません。

また、生協ショップが23時半まで営業しているのは、とても助かります。コアタイムが決まっていない研究室に所属しているのですが、実験結果を得るためにどうしても夜遅くまでかかってしまうことがあります。遅い時間でも簡単に何か食べるものを買いに行けるのは便利です。

——宇治キャンパスで研究するBさんの場合

宇治キャンパスは、敷地こそ広いですが、コンパクトなキャンパス、という印象です。宇治地区研究所本館という、吉田でいうと吉田南総合館にあたるようなメインの建物があって、その建物内に多くの研究室があります。普段はほとんど研究室に居て、構内には生協ショップのほか、コンビニもあります。生協ショップで菓子や飲み物を、コンビニで弁当をそれぞれ買うことが多いです。

OUT 住む場所について

——桂キャンパスで研究するAさんの場合

Aクラスターにある研究室で研究している知り合いは、キャンパスの桂駅周辺や山のふもと、あるいはその中間に住むことが多いです。またCクラスターにある研究室で研究している知り合いでも、桂駅周辺に住んでいる人は多い印象です。

ご飯を作るための買い物は、家から自転車で5分以内のところにあるスーパーでほとんど解決します。加えて、サイゼリヤやなか卯など夜遅くまで営業している飲食店も周辺にあり、夜中に食料が無い時は特に重宝しています。

——宇治キャンパスで研究するBさんの場合

出町柳駅から京阪電車を使って宇治キャンパスまで40分くらいで、吉田地区からの交通の便がいいので、吉田地区から宇治キャンパスへ通っています。

宇治キャンパス周辺に住む知り合いは、近所にスーパーが複数あるので、買い物には困らないと言っていました。

またキャンパス近くには「たま木亭」という有名なパン屋さんがいます。土日には30分待つほどの行列ができるほどで、中でもクニャーネというパンが人気です。

● 大好評企画「研究コン」、今年も開催！

12/12（金）18：30から北部食堂2階にて、院生同士の交流を目的とした企画「研究コン」を開催します。研究室以外の院生と交流したい方は奮ってご参加ください。（企画の詳細は、右記のXなどで随時発信します。）

研究科を越えての院生の交流会

研究コン 2025

● もっと知って、院生委員会のこと。

X (@kucoopinsei) にて院生委員会主催のイベントや院sideout!!の更新情報を発信しています。院生の方も、そうでない方も、ぜひフォローを！

お問い合わせは下記のメールまで。

E-mail : insei@s-coop.net



▲X

はみだし
すてーじ

7月の最初にこんな暑かったら今年の12月はどれだけ暑くなっちゃうんだ～
→むしろ気温の落差が激しくなって体感的な寒さは増してる気が

(理・1 オクタゴン)
(どちらにせよあまり嬉しくはない；編)